

地下鉄7号線 延伸計画

浦和美園～岩槻



さいたま市

計画の概要

あらまし

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の延伸は、平成28年4月の交通政策審議会答申第198号において、浦和美園から岩槻を経由して蓮田までの延伸が位置付けられています。

本計画は、先行整備区間に位置付けた浦和美園から岩槻に至る延長約7.2kmの区間を延伸するものです。

この延伸により、JR京浜東北線・東武スカイツリーライン等の南北軸、東武アーバンパークライン・JR武蔵野線の東西軸の中に、新たな南北軸が生まれ、格子状の鉄道ネットワークが形成されます。

これにより、埼玉県東部地域と中央地域、東京都心部の速達性が向上し、さらに経路選択の多様化、乗換回数の減少等による鉄道の利便性向上や、災害時等の代替路線機能の充実化が図られるとともに、本市の副都心である美園地区と岩槻駅周辺地区が結ばれることで地域の成長と発展が期待されます。

整備計画

整備区間 : 浦和美園～岩槻
路線延長 : 約7.2km
駅数 : 3駅(埼玉スタジアム駅・中間駅・岩槻駅)
事業スキーム : 都市鉄道等利便増進法(想定)

事業スキーム

「都市鉄道等利便増進法」の特徴

- 上下分離方式による整備
- 他の鉄道事業に比べて高い補助率(国1/3、地方1/3)



鉄道の営業(運行)主体

施設の貸付

施設使用料の支払い

鉄道施設の整備(保有)主体

都市鉄道等利便増進法に基づく費用負担模式図

整備主体の負担分
金融機関からの借入等

1/3

国の補助

1/3

地方公共
団体の補助

1/3

鉄道施設建設資金

延伸の効果

延伸の効果 1

東京圏の鉄道ネットワーク強化

東武アーバンパークラインへ結節 安定した鉄道輸送サービス提供

- ・ 都心部への速達性の向上
- ・ 乗換減少による利便性の向上
- ・ 鉄道空白(不便)地域の解消
- ・ 既存の鉄道路線の混雑緩和
- ・ 高齢者の移動手段(公共交通)の確保

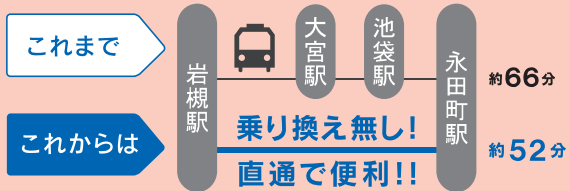
品川・羽田空港へのアクセス利便性が向上します

東京メトロ南北線の延伸(令和4年3月事業許可)により、リニア中央新幹線の始発駅である品川駅や国際競争力強化の拠点となる同駅周辺地区へのアクセス利便性が向上します。

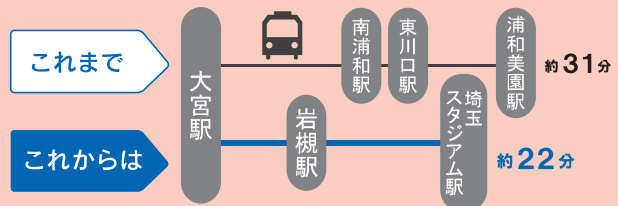
乗換回数の改善により埼玉県東部・中央地域から羽田空港へのアクセス利便性が向上します。これにより、訪日観光客などの交流人口の拡大、「人と人・モノ」をつなぐ交流ネットワークの構築に寄与します。

岩槻駅への延伸により鉄道ネットワークが充実します

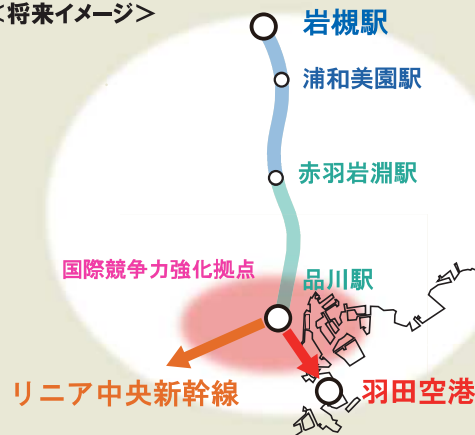
■トピックス1 岩槻駅から都心へ直結



■トピックス2 埼玉スタジアムへのアクセスも便利に



<将来イメージ>



延伸の効果 2

災害時等の代替路線機能の充実

多様な代替ルートによる リスク回避

- ・ 通勤、通学の平行路線遅延時の代替
- ・ 延伸線沿線の埼玉スタジアム、各種公共施設と連携した災害時のリスク対応

- 代替ルートが充実し、懸念される首都直下地震や災害時等のリスク回避に寄与します。

■トピックス3 埼玉高速鉄道線による振替輸送の実績

- 東日本大震災(平成23年3月11日)
即日復旧(21:30運転再開)終夜運転実施
11,265人振替輸送
- 千葉県北西部地震(令和3年10月7日)
22,753人振替輸送

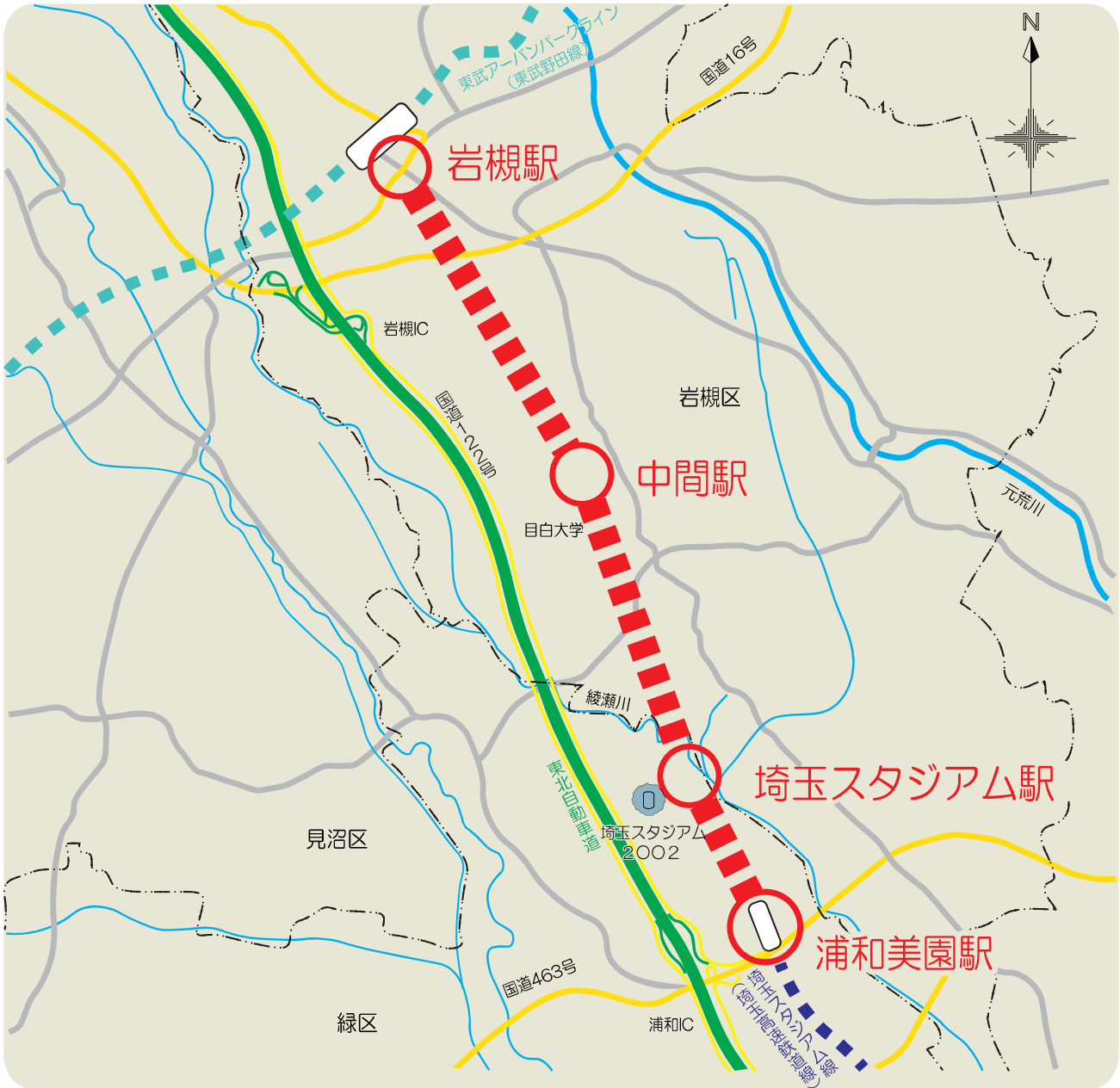
■トピックス4

災害時等に延伸線と並走する東北自動車道との連携

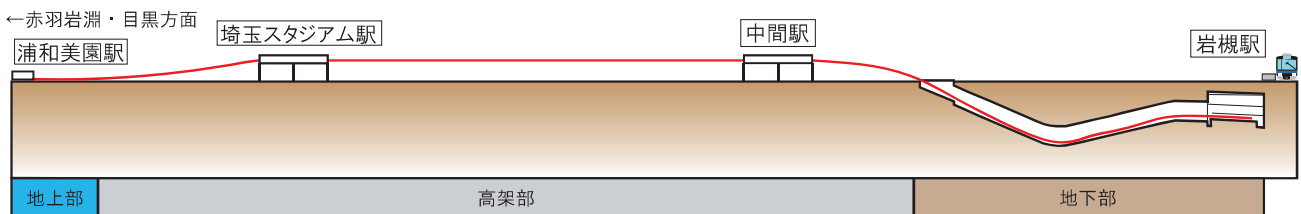
- 東北自動車道と連携した物資搬送、人員輸送も可能
浦和IC、岩槻IC

延伸ルート図

平面図

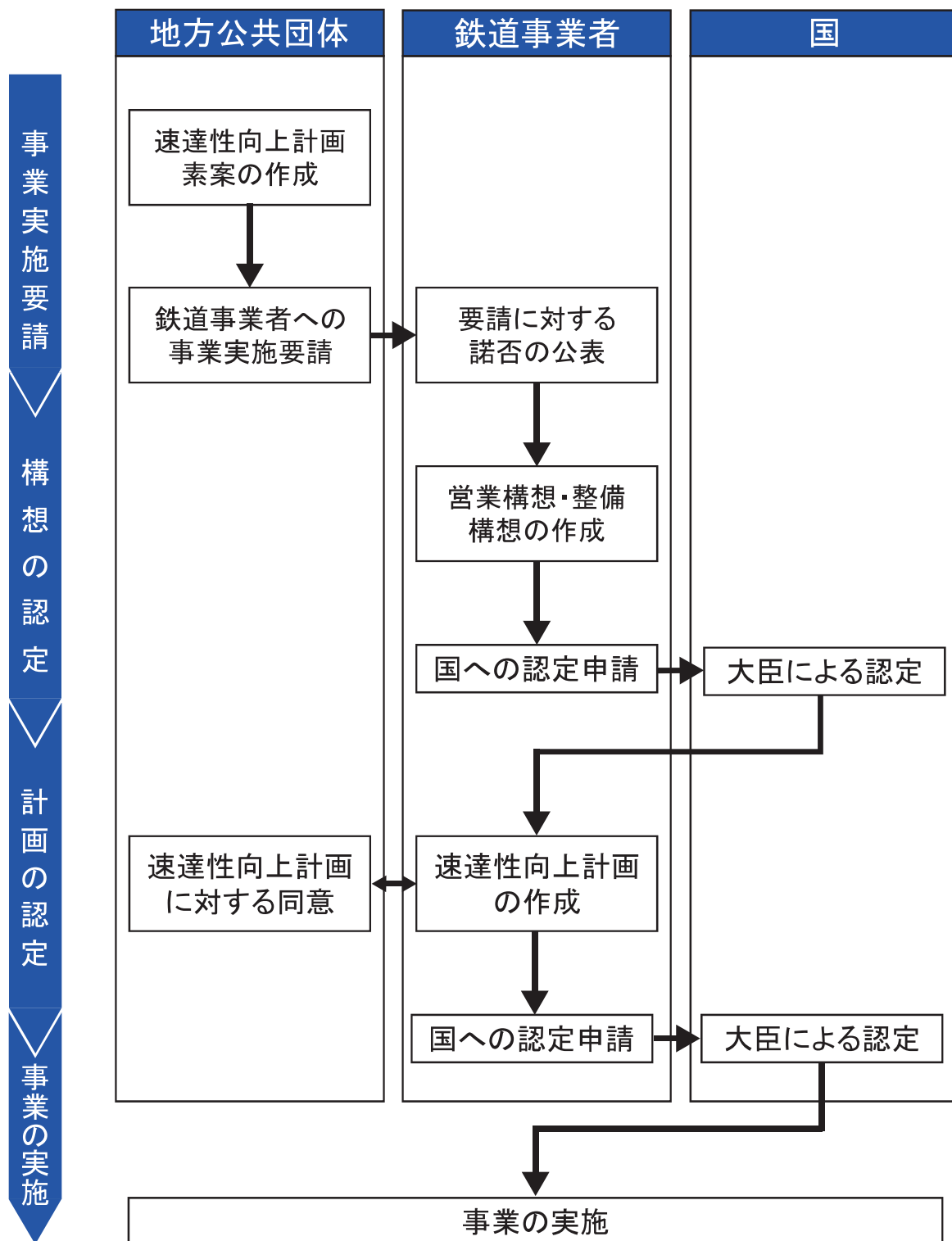


縦断面図



※駅名、ルート、構造について正式に決定したものではありません。

延伸に向けた今後の流れ



お問合せ先

■さいたま市 都市戦略本部 未来都市推進部

さいたま市浦和区常盤六丁目4番4号

TEL : 048-829-1873 (直通)

FAX : 048-829-1997

ホームページ : <https://www.city.saitama.jp/>

作成年月 : 令和5年(2023年)1月

この印刷物は2000部作成し、1部当りの印刷経費は53円です。